

Okabe Marking Systems

M-9055

取扱説明書

M-9055
Pesca
Newstar★

| | |
|-------|------------|
| バージョン | 第5版 |
| 作成日 | 2007年9月1日 |
| 最終更新日 | 2019年7月24日 |





はじめに

ご使用の前に必ずお読みください


- ご使用前に必ず本書をよくお読みください。読み終わったあとは大切に保管し、必要なときに読み直しできるようにしてください。
- 本書の内容は予告なく変更されることがあります。
- いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。
- 本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植等にかかわらず、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書で支持されている製品以外のオプションや消耗品を使用した場合、その結果として発生したトラブルにつきましては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書で支持している部分以外は絶対に手入れや、分解、修理を行わないでください。
- お客様の謝った操作や取り扱い方法、使用環境に起因する損害につきましては、責任を負いかねます。
- 故障、修理、検査などに起因するデータ損失の障害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

安全上のご注意

- ・ ご使用になられる前にこの“安全上のご注意”をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
- ・ お使いになられるかたや他の人への危害、財産への損害をふさぐため必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
- ・ 表示された内容支持を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを次のように説明しています。

| | |
|---|---|
|  警告 | <p>誤った使い方をすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を表示しています。</p> |
|  注意 | <p>誤った使い方をすると、「障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を表示しています。</p> |


※物的損害とは、家屋・家材および家畜・ペットにかかわる拡大被害を示します。



警告

以下の事項は本機が破損もしくは故障、過熱、発煙する恐れがあり、火災、感電の原因になりますので絶対に行わないでください。破損、故障した場合は電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。

- ・ 分解・修理・改造は行わないでください。
- ・ 本機を踏んだり、落としたりなど強い力や衝撃を与えないでください。
- ・ 濡れた手で差込プラグを抜き差ししないでください。
- ・ 指定された電源（電圧100V、周波数50／60Hz）にて単独でご使用ください。
- ・ 湿気の多い場所や、水分のかかる場所には設置しないでください。
- ・ 不安定な場所にプリンターを設置しないでください。
- ・ お手入れの際には必ず本機の電源をOFFにしてプラグをコンセントから抜いてください。



注意

本機を快適にご使用いただくために、守っていただく注意事項です。必ずお読みください。

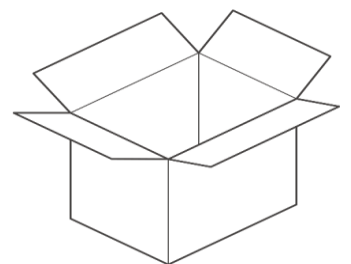
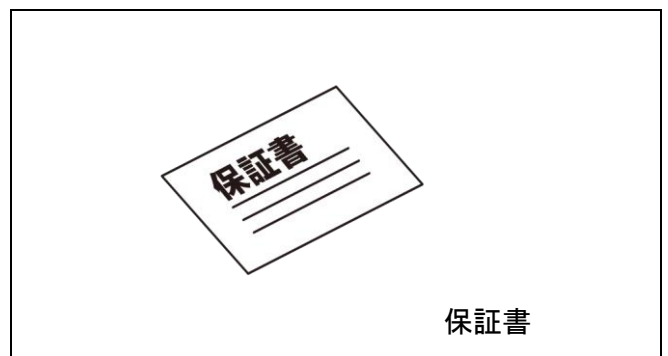
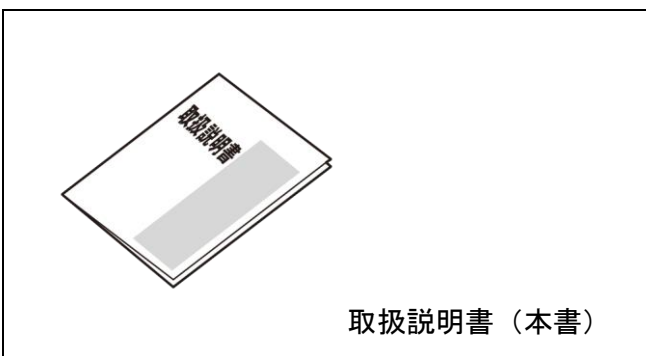
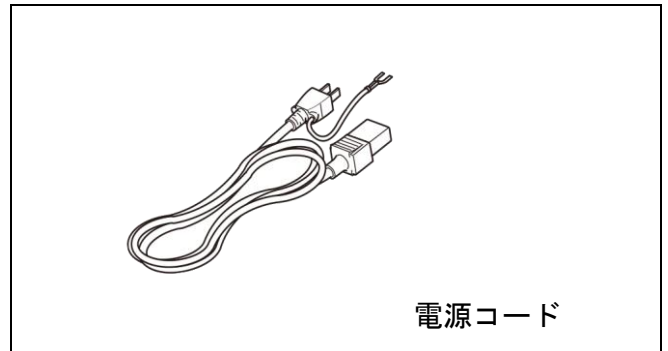
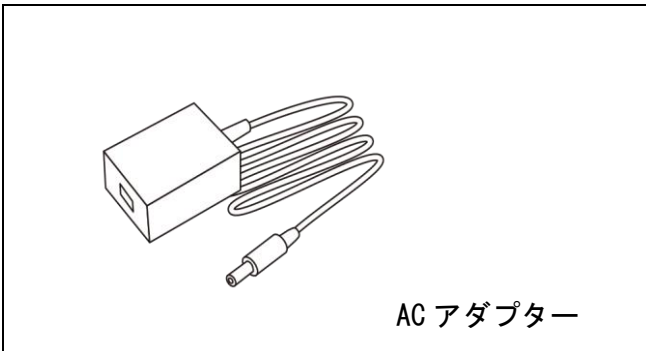
- ・ 本機内にクリップや金属ピンなどの異物を落としたり、入れたりしないようにしてください。
- ・ 本機を持ち運ぶ際には十分に注意してください。落下すると怪我や他のものを傷つける恐れがあります。
- ・ 油、鉄粉、ごみ、ほこりなどの多い場所でのご使用は避けてください。
- ・ 設置場所の周辺は十分な間隔をあけてください。
- ・ 印字中に、ACアダプターを移動しないでください。
- ・ 使用中に異常が発生したら、直ちに使用を中止し、電源プラグからコンセントを抜いてください。
- ・ 故障の時は本機の分解は行わず、必ずサービスマンにご連絡ください。

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| M-9055 取扱説明書 | 1 |
| はじめに..... | 2 |
| ご使用前に必ずお読みください | 2 |
| 安全上のご注意..... | 3 |
| 目次 | 4 |
| 1. プリンターの準備 | 5 |
| 1.1 梱包内容の確認..... | 5 |
| 2.2 各部の名称とはたらき | 6 |
| 2. ご使用前の準備..... | 10 |
| 2.1 電源の接続..... | 10 |
| 2.2 シリアルケーブルの接続..... | 11 |
| 2.3 トップカバーの開け方..... | 11 |
| 2.4 用紙の取り付け方 | 12 |
| 3. 各部の清掃..... | 15 |
| 3.1 ヘッドクリーニング | 15 |
| 3.2 プラテンローラーのクリーニング | 15 |
| 3.3 剥離ユニットローラーのクリーニング | 15 |
| 4. プリンターの操作 | 16 |
| 4.1 印字までの流れ..... | 16 |
| 4-2 漢字変換入力 | 20 |
| 5. エラー | 22 |
| 5.1 エラーメッセージの説明 | 22 |
| 5.2 トラブルシューティング | 22 |
| 6. 本体仕様..... | 23 |

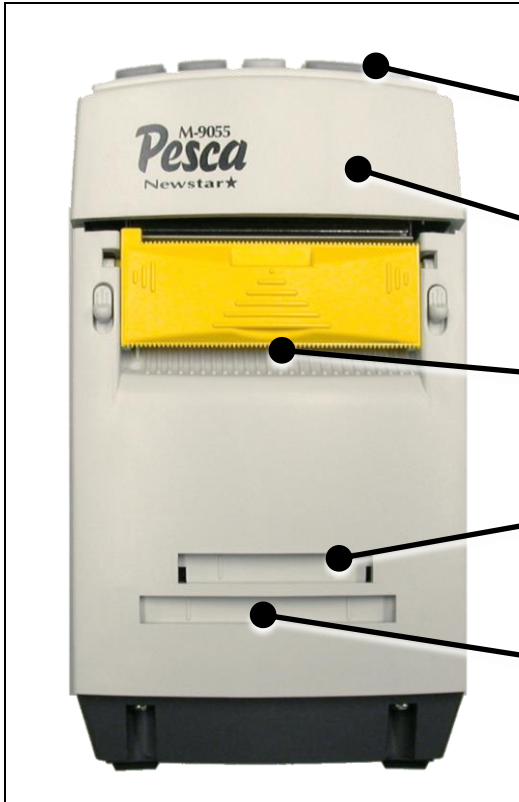
1. プリンターの準備

1.1 梱包内容の確認



2.2 各部の名称とはたらき

本体前面



本体前面: 各部の名称とはたらき

1. 操作パネル
各種オペレーションを行います。
2. トップカバー
用紙を交換または、セットするとき上に開きます。
3. 剥離ユニット
ラベルを1枚ずつ剥がしながら印刷します。
4. CFカードスロット
CFフラッシュメモリーカードを挿入します。
5. PCMCIAカードスロット
無線LAN用のカードを挿入します。

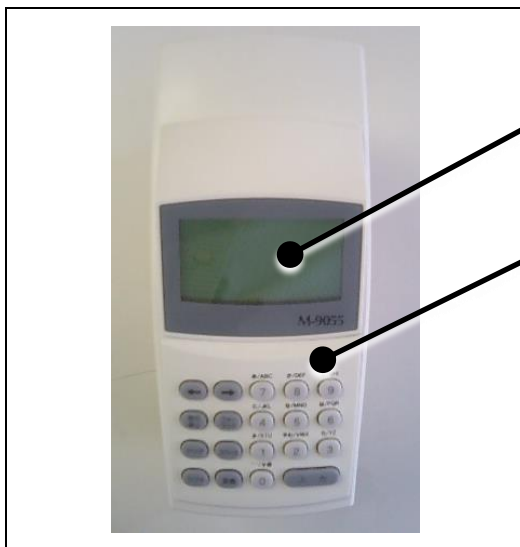
本体側面



本体側面: 各部の名称とはたらき

6. トップカバーオープンラッチ
トップカバーを開くとき操作します。

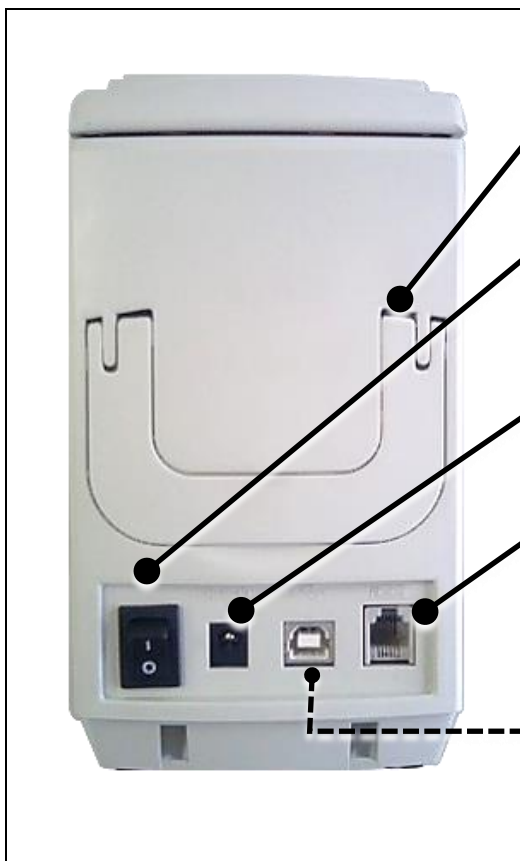
本体上面



本体上面: 各部の名称とはたらき

7. LCD ディスプレイ
データやエラーなどのメッセージを表示します。
8. 各種キー
データ入力や各種操作を行います。

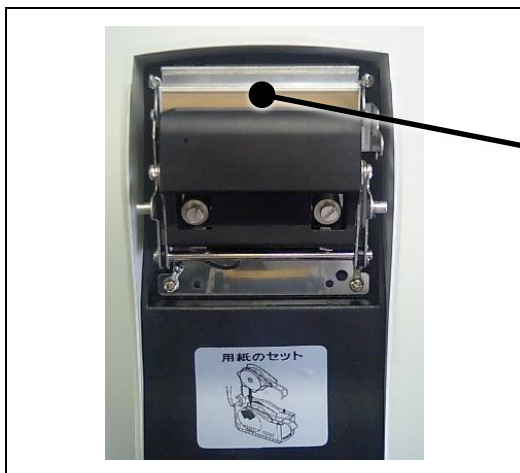
本体背面



本体背面: 各部の名称とはたらき

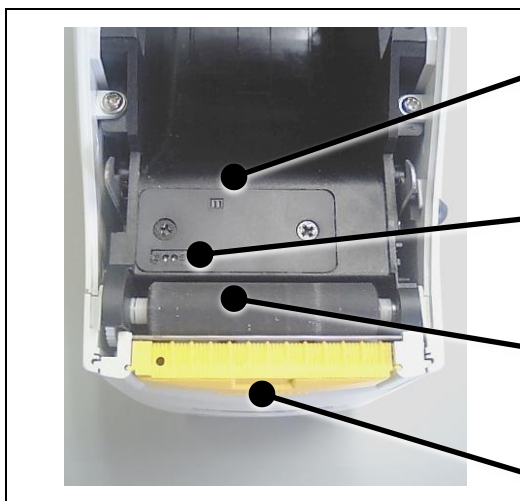
9. 取っ手
本体を持ち運ぶとき使用します。
10. 電源スイッチ
本体の電源ON/OFF操作を行います。
11. ACアダプター入力コネクタ
電源用ACアダプターが接続されます。
12. シリアルインターフェースコネクタ
シリアルインターフェース(RJ11)が接続されます。
13. ※USBコネクタ※
USBインターフェースが接続されます。(未対応・開発予定)

本体内部



本体内部: 各部の名称とはたらき

- 14. サーマルヘッド
印刷用ヘッドです。



- 15. ペーパーエンドセンサー
用紙切れ検知用センサーです。
- 16. フィードセンサー
用紙フィード用センサーです。
- 17. プラテン
用紙をフィードさせます。
- 18. 剥離バー
ラベルと台紙を剥がします。

操作パネル



- **入力部**
 - ・ LCDディスプレイ: 4 段 × 16 桁の表示部です。
- **矢印部**
 - ・ 矢印キー: 表示部のカーソル移動、漢字変換処理の操作ができます。
- **データ部**
 - ・ データキー(0 ~ 9): 文字(英数字、かな等)が入力できます。
- **制御部**
 - ・ 発行停止: 印刷動作の停止/発行の操作ができます。
 - ・ フォーマット: 各モードを抜けます。
 - ・ クリア: 入力文字のクリアを行います。
 - ・ スペース: 空白の入力ができます。
 - ・ シフト: 入力モードの変更ができます。
 - ・ 変換: 漢字変換が可能になります。
- **入力部**
 - ・ 入力: 入力されたデータを確定して、登録します。

2. ご使用前の準備

2.1 電源の接続

以下の手順で操作を行ってください。



1. プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
2. 電源コードをACアダプターに差し込みます。



3. AC アダプターのコネクターを本体 AC アダプター入力コネクターに差し込みます。
4. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

注意

コンセントはアース付き3端子コンセントを使用してください。
使用しないと静電気で怪我をする恐れがあります。

2.2 シリアルケーブルの接続

プリンターをオンラインで使用するにはシリアルケーブル(RJ11:別売)が必要です。
シリアルケーブルを接続する手順は以下のとおりです。



1. プリンターとコンピューターの電源スイッチをOFFにしてください。
2. ケーブルのモジュラー側をプリンターのシリアルインターフェースコネクタに差し込みます。
3. ケーブルのもう一方のコネクタをコンピューターに差し込みます。

2.3 トップカバーの開け方

用紙を交換するときはトップカバーをあけてから行います。



1. 本体右側のトップカバーオープンラッチを手前側に引くとトップカバーが開きます。

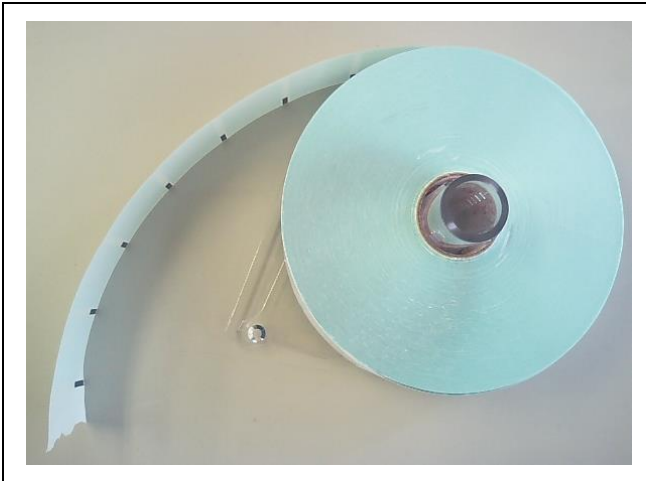


2. トップカバーが開きますのでトップカバーの両側面の凸凹部分に手をかけて開きます。

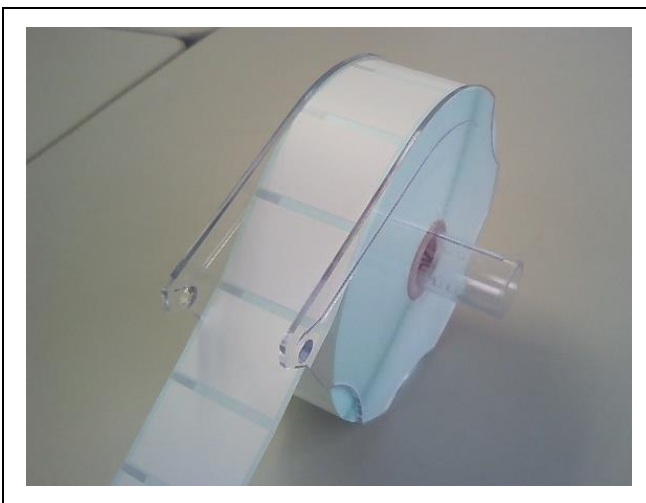
2.4 用紙の取り付け方



1. トップカバーを開けます。
(トップカバーの開け方を参照してください)
2. 本体内から用紙ロールホルダーを取り出し、用紙押さえ板を外します。

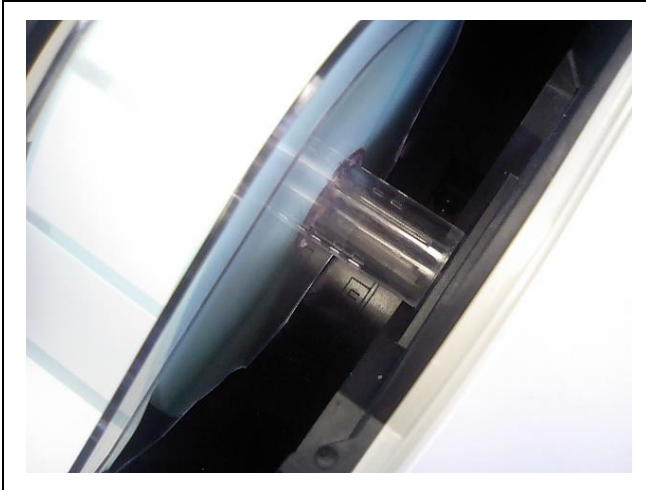


3. 用紙ホルダーの矢印方向にロール用紙をセットします。

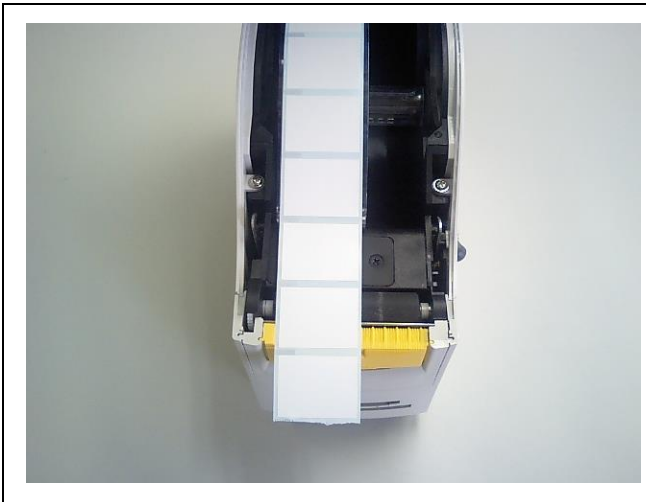


4. 台紙幅に密着するよう挿入し、用紙押さえ板をセットします。

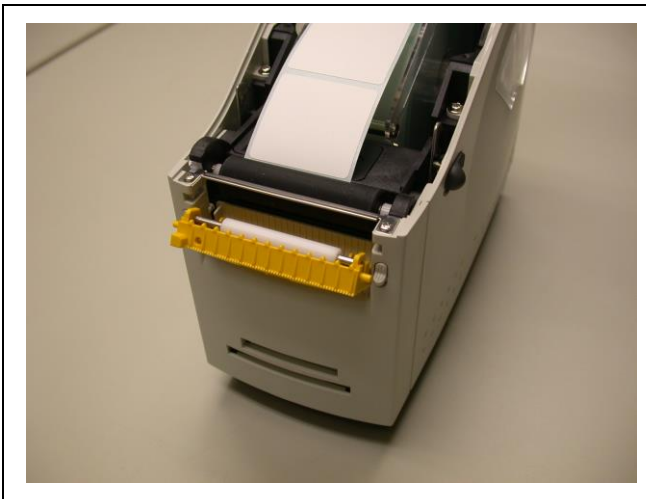
次のページへ続く→



5. 用紙がセットされたロールホルダーを本体内のミゾにあわせてセットします。

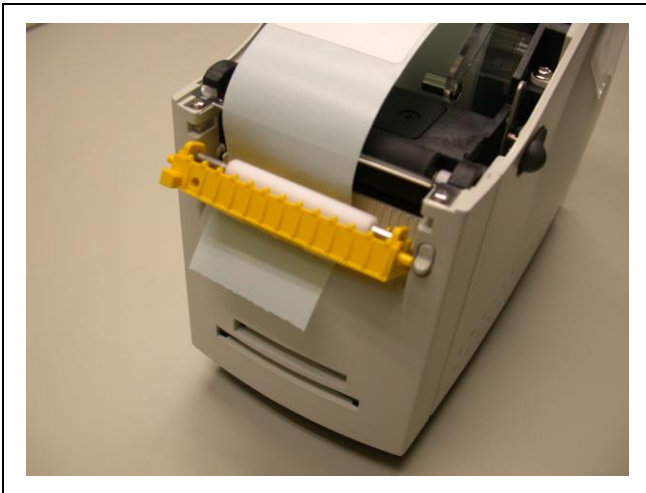


6. 通常発行／排出發行の場合
用紙の先端を前面カバーから3cmくらい出します。



7. 剥離発行の場合
7-1) 剥離ユニットを上押し上げて取り外します。

次のページへ続く→



7-2) 用紙の先端を剥離バーから5cmくらい出します。



7-2) 剥離ユニットをセットします。(溝に沿って挿入します)



8. トップカバー両側面の凸凹部分を手で持ち押し下げて閉めます。

3. 各部の清掃

3.1 ヘッドクリーニング

綿棒など先が柔らかいものにアルコールをつけてヘッドの発熱体部分をクリーニングします。



ヘッドクリーニングは必ず本機の電源がOFFの状態で行ってください

3.2 プラテンローラーのクリーニング

さらしなどにアルコールをつけてプラテンローラーを回転させながらクリーニングします。



プラテンローラーのクリーニングは必ず本機の電源が
OFFの状態で行ってください。

3.3 剥離ユニットローラーのクリーニング

さらしなどにアルコールをつけて剥離ユニットローラーを回転させながらクリーニングします。



剥離ユニットローラーのクリーニングは必ず本機の電源が
OFFの状態で行ってください。

4. プリンターの操作

4.1 印字までの流れ

スタンドアロンの使用例

1. プリセットモードの使用例

- ・ 本体電源をONします。
- ・ フォーマットに適した用紙をセットしてください。

| | | |
|---|---|--|
| 1 | 1. 発行 2. 登録 3. ユーティリティ モード No.? [_] | モードを選択します。 1 入力 キーを押してください |
| 2 | 発行モード [*] 1. 即時発行 2. プリセット 3. オンライン | 発行モードを選択します。 2 キーを押してください |
| 3 | <プリセット> フォーマット? [* * *] | フォーマットを選択します。 1 キーを押してください ※「フォーマット No」は登録されたフォーマットにより異なります。 |
| 4 | PRE No:001 呼出番号? 001< [001/001] | 0 0 1 入力 キーを押してください ※事前に登録されている「プリセットデータ呼び出しNo」を入力してください。 |
| 5 | PRE No:001 品名? 人参1本< X2 Hira [001/004] | 品名を入力します。 登録されている品名が表示されます。 入力 キーを押してください |

次のページへ続く→

| | | |
|---|---|---|
| 6 | PRE No:001 部門? 050< X1 Num [002/004] | 部門を入力します 登録されている部門が表示されます。 入力 キーを押してください |
| 7 | PRE No:001 価格? ¥120 -Price [003/004] | 価格を入力します 登録されている価格が表示されます。 入力 キーを押してください |
| 8 | PRE No:001 コード? 451234567891< X1 Num [004/004] | コードを入力します。 登録されているコードが表示されます。 入力 キーを押してください |
| 9 | PRE No:001 枚数? 5< [004/004] | 発行枚数を入力します。 登録されているコードが表示されます。(例:5枚の場合) 5 入力 キーを押してください |

印刷を開始すると[4. 呼出番号入力]に戻ります。

2. データウロクモードの使用例

- ・ 本体電源をONします。
- ・ フォーマットに適した用紙をセットしてください。

| | | |
|---|--|--|
| 1 | <p style="text-align: center;"><メインメニュー></p> <p>1. 発行 2. 登録 3. ユーティリティ モード No.? []</p> | <p>モードを選択します。</p> <p>1 入力 キーを押してください</p> |
| 2 | <p style="text-align: center;">発行モード</p> <p>1. 即時発行 2. プリセット 3. オンライン</p> | <p>発行モードを選択します。</p> <p>1 キーを押してください</p> |
| 3 | <p style="text-align: center;"><即時発行></p> <p style="text-align: center;">フォーマット? [* * *]</p> | <p>フォーマットを選択します。</p> <p>1 キーを押してください</p> <p>※「フォーマット No」は登録されたフォーマットにより異なります。</p> |
| 4 | <p>FMT No:001 品名? とまとく X2 Hira [001/004]</p> | <p>品名を入力します。 例)とまと 下段左がわ表示 (X2 Hira=ひらがな入力)</p> <p>STEP1: 4 を4回押します: た→ち→つ→と</p> <p>STEP2: 1 を回押します: ま</p> <p>STEP3: 4 を4回押します: た→ち→つ→と</p> <p>入力 キーを押してください</p> |

次のページへ続く→

5

FMT No:001
部門?
050<
X1 Num [002/004]

部門を入力します

0 5 0 入力 キーを押してください

6

PRE No:001
価格?
¥120
-Price [003/004]

価格を入力します。

例:120 円の場合
1 2 0 入力 キーを押してください

7

FMT No:001
コード?
451234567891<
X1 Num [004/004]

コードを入力します。

4 5 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1

入力 キーを押してください

8

PRE No:001
枚数?
5<
[004/004]

発行枚数を入力します。

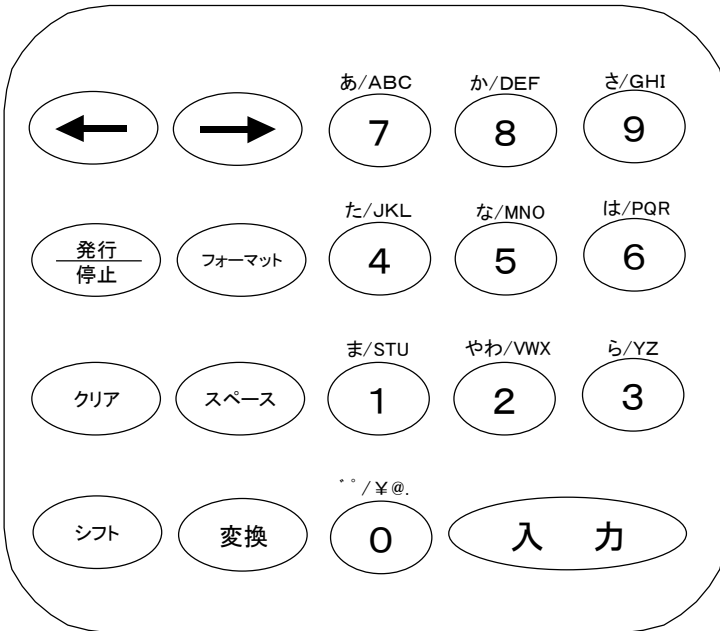
例:5 枚の場合
5 入力 キーを押してください

印刷を開始すると **[4. 品名入力]** に戻ります。

4-2 漢字変換入力

本機は辞書機能を標準装備しており漢字変換処理を行うことで漢字を印字することが可能になります。

キーボードレイアウト



漢字変換処理時のキー役割

0: 濁点(゛)、半濁点(゜)

1: まみむめも

2: やゆよやゆよー

3: らりるれろ

4: たちつとっ

5: なにぬねの

6: はひふへほ

7: あいうえおあいうえお

8: かきくけこ

9: さしすせそ

シフト: 入力モードの切り替え(次のように切り替わります。)

(1バイト数字→1バイトカタカナ→1バイト英字→1バイト記号

→2バイト数字→2バイトカタカナ→2バイト英字→2バイト記号→2バイトひらがな)

変換: 入力モードが2バイトひらがなの時は、漢字変換モードに切り替わります。

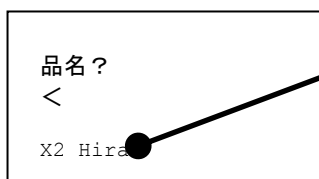
クリア: 1文字クリアします。

スペース: 空白入力します。

矢印: 変換候補漢字を変更します。

漢字変換方法

STEP 1

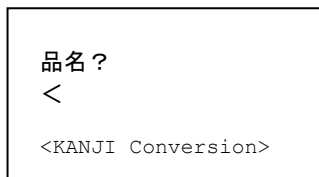


入力モードを確認します。

LCDディスプレイの
入力モード(下段左)が2バイトひらがな
になっていることを確認します。

異なっている入力モードの場合には
シフトキーにて2バイトひらがなに変更します

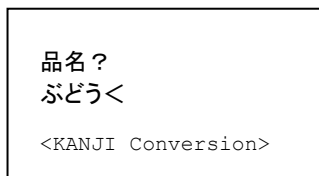
STEP 2.1



変漢字変換モードにします。

変換キーを押してください。

STEP 2.2



変換する文字を入力します。

例) 葡萄と変換する場合

6キーを3回押します: は→ひ→**ふ**

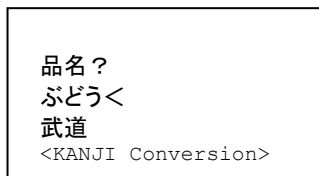
0キーを1回押します: **ぶ**

4キーを5回押します: た→ち→つ→て→**と**

0キーを1回押します: **ど**

7キーを3回押します: あ→い→**う**

STEP 3.1



漢字に変換します。

変換キーを押します。

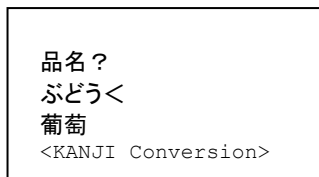
変換候補漢字が表示されます

変換対象でない場合には**矢印**キーで変更します。

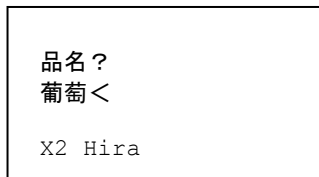
→キーを1回押します: 葡萄

入力キーを押して確定します。

STEP 3.2



STEP 4



漢字が確定されます。

追加文字がなければ**入力**キーを押します。

次の項目の入力処理となります。

5. エラー

5.1 エラーメッセージの説明

主なエラーメッセージを以下に示します。

| 表示 | 内容 | 対応 |
|---------|--------------------------|---|
| ペーパージャム | 用紙が正常にフィードできないときに表示されます。 | 用紙が正しくセットされているか、「フォーマット」に適した用紙がセットされているか確認して 入力 キーを押してください。 |
| ヨウシギレ | 用紙切れの時表示されます。 | 新しい用紙をセットしてから 入力 キーを押してください。 |
| ヘッドフリオウ | プリントヘッドが故障したときに表示されます。 | ヘッド交換が必要です。 弊社にご連絡ください。 |
| ヘッドオープン | トップカバーが開いています。 | トップカバーを閉じて 入力 キーを押してください。 |

5.2 トラブルシューティング

本機にてトラブルが発生した場合の対処方法について説明いたします。

| 現象 | チェック項目 | 対応方法 |
|---------------------|------------------------|--|
| プリンターの電源がONにならない | 電源コードが正しく接続されていますか。 | 電源コードを正しく接続してください。 |
| 用紙フィード動作ができない | トップカバーが完全に閉まっていない。 | トップカバーを正しくセットしてください。 |
| 用紙が蛇行する | ロールホルダーが正しくセットされていない。 | ロールホルダーに用紙を正しくセットしてください。 |
| 用紙はフィードされるが何も印刷されない | プリントヘッドが汚れていませんか。 | プリントヘッドをクリーニングしてください。 |
| | プリントヘッドにラベルが付着していませんか。 | ラベルを除去してください。 ※付着したラベルを金属性の道具で除去しないでください。(ヘッドを破損させる恐れがあります) |
| 部分的に印字しない | プリントヘッドが汚れていませんか。 | プリントヘッドをクリーニングしてください。 |
| | プリントヘッドにラベルが付着していませんか。 | ラベルを除去してください。 ※付着したラベルを金属性の道具で除去しないでください。(ヘッドを破損させる恐れがあります) |
| | プラテンが汚れていませんか。 | プラテンをクリーニングしてください。 |

6. 本体仕様

| M-9055 本体仕様 | |
|-------------|--|
| 本体サイズ | 110 mm (幅) × 225 mm (奥行) × 196 mm (高さ) |
| 重量 | 2.3 kg |
| 使用温度 | 5 ~ 40 °C |
| 使用湿度 | 15 ~ 85 % RH |
| 消費電力 | 最大75 W |
| 印字方法 | ダイレクトサーマル方式 |
| 印字用紙 | 感熱紙(弊社指定品) |
| 用紙サイズ | <ul style="list-style-type: none"> ・最大: 60 mm (幅) × 254mm(長さ) ・最小: 連続モード 22 mm (幅) × 6 mm (長さ) 剥離モード 22 mm (幅) × 30 mm (長さ) 排出モード 22 mm (幅) × 16 mm (長さ) |
| 最大印字幅 | 56 mm |
| 最大印字速度 | 3 IPS (75 mm/sec) |
| 印字密度 | 203 dpi (8 dot/mm) |
| バーコード種 | JAN / UPE、CODE39、CODE128、NW7 |
| 文字種 | 英数字 8 種、漢字 2 種、POP フォント 2 種 |
| LCD | グラフィック LCD (128 x 64 dots) バックライト機能 |
| インターフェース | シリアル(RJ11)、Wireless LAN (OP) ※USB 802. 11b (現在未対応・開発予定) |
| AC アダプター仕様 | |
| AC アダプター寸法 | 63mm(幅) × 105mm(奥行) × 30mm(高さ) |
| 入力電源 | 100~240V、50/60Hz、1.7 A |
| 出力電源 | 12V、5.0 A |

OKABE

Marking Systems

オカベマーキングシステム株式会社 拠点網

● 東京本社

〒160-0022

東京都新宿区新宿 1-5-10

TEL: 03-5379-5501 FAX: 03-5379-1084

● 札幌営業所

〒064-0806

北海道札幌市中央区南 6 条西 1-5 6・1 ビル 5 階

TEL: 03-5379-5501 FAX: 03-5379-1084

● 仙台営業所

〒983-0044

宮城県仙台市宮城野区宮千代 2-1-2 アイランドビル 1 階

TEL: 022-237-6251 FAX: 022-237-6253

● 新潟サービスセンター

〒950-0963

新潟県新潟市中央区南出来島 2-10-15 モンテ出来島 2 階

TEL: 025-284-2720 FAX: 025-283-5164

● 金沢サービスセンター

〒921-8062

石川県金沢市新保本 1-305

TEL: 076-269-3022 FAX: 076-269-3023

● 名古屋営業所

〒461-0005

愛媛県名古屋市東区東桜 2-10-1 ヤハギ東桜ビル 2 階

TEL: 052-937-5125 FAX: 052-937-5127

● 大阪支店

〒532-0002

大阪府大阪市淀川区東三国 2-34-1 ハイランドビル 3 階

TEL: 06-6397-1551 FAX: 06-6397-1555

● 広島営業所

〒733-0834

広島県広島市西区草津新町 1-14-11 メゾン綱岡 101

TEL: 082-276-5231 FAX: 082-276-5237

● 高松サービスセンター

〒760-0035

香川県高松市鶴屋町 1-8 ルポーゼ・セルソ 1 階

TEL: 087-823-4570 FAX: 087-823-4587

● 福岡支店

〒813-0034

福岡県福岡市東区多の津 1-14-1 FRCビル 7 階

TEL: 092-622-7622 FAX: 092-621-1021

製品についてお困りの際は最寄りの拠点までご連絡ください。